

口永良部島で噴火

鹿児島、火砕流も発生



爆発的噴火が発生した鹿児島県の口永良部島=29日午前（気象庁のホームページから）



29日午前9時59分ごろ、鹿児島県の口永良部島で爆発的噴火が発生した。火砕流が発生し海岸まで到達、気象庁は、噴火警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）から5（避難）に引き上げた。地元の鹿児島県屋久島町は、全島避難指示を出した。

警察当局によると、島の住民は約100人以上で、屋久島に避難する。これまでのところ死傷者の情報は入っていない。

噴火警戒レベルは2007年に運用が開始され、5へ引き上げられたのは初めて。特別警報に位置付けられている。

気象庁によると、噴火直後の口永良部島では上空に黒い噴煙が上がり、火口の上空9千メートル以上にまで達した。

政府は、首相官邸の危機管理センターに官邸対策室を設置し、詳しい情報を収集、海上保安庁は現地状況を把握するため大型巡視船を派遣した。鹿児島県は自衛隊に災害派遣を要請した。

口永良部島は昨年8月3日にも噴火が発生した。噴火の翌日に住民や仕事で滞在していた人ら約90人が島外に避難した。



発行所
山形新聞社
山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023 (622) 5271
Copyright (c) 2015
Yamagata Shimbun

2015年
5月29日
〈金曜日〉

電子
速報版

やましん e聞

特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。